

4 技術注力領域紹介 Cyber Security 領域

世界最大規模の構築・運用経験で先導！ NTTデータのゼロトラストセキュリティ

リモートワークやクラウド利用の急拡大、そして海外進出に伴って、安全だったはずの社内ネットワークは、いつの間にか危険に満ちあふれるようになった。本記事は「ゼロトラスト」の観点で、どのようにこれらの課題を克服するのか、そして当社での経験をもとにした商用展開について、概要を解説する。

今取り組むべき、サイバーセキュリティの優先課題とは？

サイバーセキュリティは、世界規模で大きな転換期を迎えている。特に、私たちに身近な OA 環境は、大きく 2 つの課題に直面している。

課題1 リモートワークや

クラウド利用の急拡大

かつては、閉じた社内 LAN にシステムを置き、LAN と外との境界を守れば良かった。しかし、クラウド利用がビジネスに不可欠となり、自宅や出先など様々な場所での業務が求められる時代となった今、境界の水際対策だけでは、セキュリティを維持できなくなってきた。

課題2 急激なグローバル化による

ガバナンス低下

当社を含む多くの企業が、より大きな活躍の場を求め、急速にグロー

バル化している。その中で、対策の薄い海外拠点でのインシデントをきっかけに、日本の本社を含む世界中の拠点へ被害が拡大する事案が増えた。もはや 1 つの LAN に OA 環境を閉じ込め、セキュリティを維持するのは不可能になっている。

ゼロトラストによる課題克服

当社もかつて、これらの課題に大きく直面していた。そこで、全社を挙げて整備したのが、ゼロトラストセキュリティに基づく OA 環境だ。

ゼロトラストセキュリティとは、すべての通信を信頼しないことを前提に講じるセキュリティ対策のこと。クラウドに対応した認証／アクセス制御や端末の EDR (Endpoint Detection and Response) など様々な技術によって成り立つ。

これらを活用することで、世界の様々な拠点から、リモートワークやクラウド利用を安全かつ利便性を損なわずに出来る。しかし、言うは易く行うは難しである。



株式会社 NTT データ
技術革新統括本部
システム技術本部

サイバーセキュリティ技術部長 鴨田 浩明氏

NTT データの強みと役割

NTT データは、数多くの試行錯誤を繰り返しながら、自社グループ 55 カ国 15 万人という、世界最大規模のゼロトラストネットワークを構築。調査会社のアナリストに「この規模は世界的に稀有」と言わしめた。

今、同様の課題に悩む企業は多い。そこで昨年度、当社の知見をもとに、お客様のゼロトラストセキュリティを実現するサービスを提供を始めた。

今年度は GRC (Governance Risk and Compliance) 観点でのコンサルティングと、セキュリティ運用の高度化にも力を入れる。上流から下流まで、一気通貫かつワンランク上のセキュリティアウトソースを実現する。

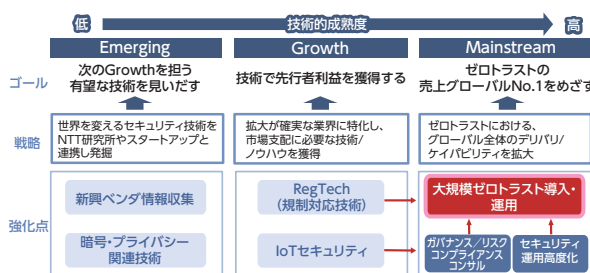


図1 サイバーセキュリティ技術部のビジネス戦略